

御蔵山スポ少30周年祝う

御蔵山スポーツ少年団の創立30周年記念祝賀会が19日、京都夕ワロホテルで開かれ、来賓のほか、歴代監督・コーチ、卒団生、保護者

らが節目を祝い、発展を願った。

1985年に南山ヤンチャース御蔵山少年野球クラブが合併し、基盤を形成。以来、大会

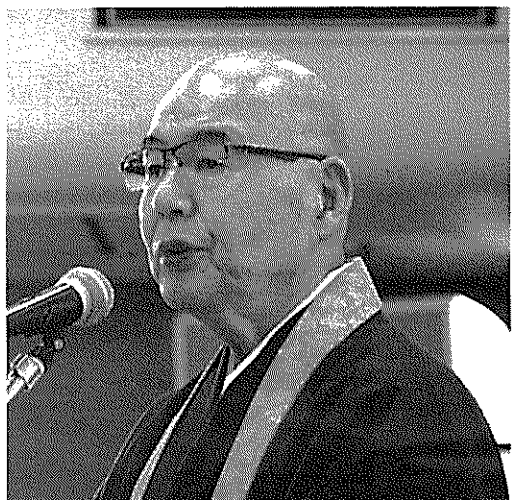
での優勝・準優勝も数多く、プロ・甲子園球児を輩出してきた。

祝賀会は京都造形芸術大学和太鼓サークルの迫力あるパチさばきで幕開け。小松玄澄団



祝辞を述べる大門和彦さん

長(善光寺貫主)は人格形成の初歩にあって、野球は共同作業を学べるもの。皆さんの努力で30年続けられた」と挨拶。来賓祝辞に立った山本正市長は保護者の熱心さ、団員のマナーの良さにふれ「これからも素晴らしい子供たちを育てて」と期待を寄せた。



はじめに挨拶する小松玄澄団長

あと、故人となった歴代監督らを偲ぶ黙祷功労者表彰なども行われた。

元大洋ホエールズ(現横浜)などで投手として活躍、現在は実業家として知られる大門和彦氏も壇上で、少年化の中、幼時からの競技普及にできる限り努めたいとの決意を明かした。

JAPANESE京都隊・山下栄順監督の発声で乾杯し、祝宴に移った



き